

カリキュラム

機構施設名： 千葉職業能力開発促進センター
 実施機関名： 株式会社日本コンサルタントグループ

A. バックオフィス	財務管理	037企業価値を上げるための財務管理
------------	------	--------------------

コースのねらい	財務の概念と財務諸表の構造を知り、コスト、資金管理、財務分析の手法を理解することで、企業価値を上げるための財務管理に関する知識を習得する。
---------	---

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 財務の概念と財務諸表	(1)財務知識の重要性 財務知識を学ぶ必要性について理解します。事業活動の財務データの表裏一体の関係性について学び、講義に対する動機づけと今後の財務知識の活用の意欲を喚起します。 (2)財務諸表の基本構造 貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書の基本的な構造、用語、知識を学びます。	1.5
	2 コストと資金管理	(1) 資金管理の重要性 財務上の数値と非資金費用の関係性からや資金繰りに関する考え方を説明し、キャッシュフローの考え方や管理の重要性について理解します。 (2) コストの種類と損益分岐点 変動費・固定費の概念と、損益分岐点の考え方を理解し、費用構成やコストバランス、利益確保のための改善課題を検討します。	1.5
	3 財務分析と財務計画	(1)財務分析の基本 収益性、安全性、流動性、効率性などの分析手法について、考え方、計算方法、着眼点、判断基準を理解します。 (2)財務分析演習 数社のモデル企業の財務分析を行い、違いから経営状況や長所・短所などを分析し、財務分析の活用方法について理解します。 (3)財務分析の応用演習 事例企業の財務諸表と与件から、数値と実際の事業状況を照らし合わせ、経営上・事業上・業務上の問題点とその改善策を理解します。これにより、数値と事業の関連性や、数値成果を上げるためにどのような取り組みが必要か財務視点からの理解を促します。	3.0
演習	損益計算書・貸借対照表の理解確認ワーク(グループワーク・発表) 財務諸表の基本となる損益計算書・貸借対照表の読み方を理解するために、簡易な企業の事例分析を行い、事業と財務諸表の関係性の理解と、財務諸表からの事業の問題点の発見の視点を養います。 損益分岐点分析と改善課題の検討(個人ワーク・グループワーク・発表) 事例企業のデータを基に、固定費・変動費を分解し、損益分岐点売上高を算出します。また、利益率・費用との関係性や、目標利益額をベースに目標売上高を算出する考え方を理解します。 財務分析演習(個人ワーク・発表) 上場企業のIRなどを活用し、収益性、安全性、効率性の分析手法を実践的に学びます。また分析結果を比較し、そこから推測される特徴や戦略、自社の強みと弱みを分析します。 財務分析の応用演習(グループワーク・発表) 事例企業の財務諸表に対する財務分析と、与件文から経営上・事業上・業務上の問題点を分析し、改善方法を検討します。財務知識の活用方法の理解や、事業・業務における取り組みを数値におけるどのような目標・目的に対応して講じていくべきかを考えます。		
合計時間			6.0